

第16回ムジークフェストなら実行委員会（12月19日）概要

●日 時：平成30年12月19日（水）13:00～14:30

●場 所：奈良商工会議所 小ホール

●出席者：別紙名簿のとおり

●概要

- ・開会に先立ち、荒井会長から挨拶。
- ・事務局より出席委員を紹介。実行委員会会則に基づき、代理出席も含めた出席委員数が、委員の現在数の過半数であることから、本日の実行委員会は、議事の審議に必要な定足数を満たしており、有効に成立していることを報告。
- ・配付資料の確認後、荒井会長を議長に選出。
- ・議長の司会進行に基づき、事務局から議題①『ムジークフェストなら2019』事業計画(案)』および②「ムジークフェストなら2019 予算(案)」について説明。委員による意見交換・質疑応答後、議案①および②について原案どおり採決し、承認を得た。
- ・最後に、報告案件として「①ムジークフェストなら2018 事業報告(決算見込ほか)」を事務局から説明。

【議事録】

1. 冒頭会長（知事）挨拶

- ・ムジークフェストならも今年（2018年）から開催時期を前倒して実施し、来年（2019年）も同時期での開催を予定しているところ。来年の開催についても、色々と工夫をしながら企画しているが、皆様のご指導をいただきながら進めていきたいと思っている

2. 事務局より議案①②に基づき説明

3. 委員質疑等

【議長（荒井知事）】

- ・資料の内容等について委員の皆様の意見を伺い、充実させていきたい。

【委員】

- ・ぐるっとムジークの企画はいいと思う。集客の目標人数などはあるか。

【事務局】

- ・全体での目標数値は設定していないが、ムジーク・プラッツの「沖縄音楽」では11,000

人、「ジャズ祭り」では13,000人程度を目標としているが、その他の会場でも会場がいっぱいになるように、ぐるっとバスの利用者が多くなるように取り組んでいきたい。

【議長（荒井知事）】

- ・ぐるっとバスで移動できる人数も限りがあるので、やってみないと利用者数も分からないところがあると思う。

【委員】

- ・私もぐるっとミュージクの企画はいいと思う。
ぐるっとバスを利用してもらい、便利だと思ってもらえるように公演スケジュールとうまくリンクさせる必要がある。
- ・スギ四重奏では、演奏も魅力だが、楽器自体も魅力があると思うので、楽器の展示を会場でできないか。
- ・ウィーン少年合唱団の演奏曲目だが、招聘事業者と調整してもらい、日本のなじみのある曲なども入れてもらいたい。
- ・広報については、ホームページやSNSなどを活用して、準備期間を含めて「曲目が決まりました」「出演者が決まりました」など順次発信していければ効果的だと思う。

【事務局】

- ・楽器の展示について、楽器の弾き慣らしもあるので、演奏終了後に展示できるように検討していきたい。
- ・ウィーン少年合唱団の演奏曲目は、日本の曲目も入る予定。
- ・SNSを活用した広報についても、随時発信していきたいと思う。

【議長（荒井知事）】

- ・演奏曲目については、ミュージクフェストはドイツ名を用いているが、ドイツ音楽ばかりでもない。ドイツ関連のイベントもあるが、奈良の「自然」「社寺」を楽しんでもらうということも一つのテーマとしてきた。ミュージクフェストを5月に前倒しして、今後のテーマをどうするかも課題だが、テーマを追求しなかったことで、春日野園地でのファミリーコンサートや沖縄音楽などが生まれてきたということもある。奈良少年刑務所跡地を活用したホテルや登大路バスターミナルなど新たな演奏会場から生まれる企画もある。
- ・音楽祭もいつから始まっているかを宣伝することも大事。オープニングコンサートを大きくして派手にするなどの工夫もあると思うので、検討していきたい。
- ・ぐるっとミュージクでは、開催会場以案内板+チラシを置くなど、次はどこにいけば楽しめるかなど、工夫をしていければと思う。

【委員】

- ・協会としては、ムジークフェストを宿泊につなげていきたいと考えているとともに、宿泊者にどのようにして参加してもらえるかを考えていきたい。
- ・各宿泊施設のホームページにおいてムジークフェストのホームページとリンクさせたり、期間中に宿泊施設において音楽を流すなど、盛り上げていきたいと思う。
- ・モデルコースを例示で示していただいているが、外国の方や一般の方向けに、もう少し詳しいモデルコースを作成し、英語版を作成するとともに、ホームページに連携させるなど、外国の方は音楽を非常に好むので、宣伝ができればいいと思う。
- ・音楽祭の開催前には、昼のテレビ番組でのPRなど近畿圏に発信できればと思う。

【議長（荒井知事）】

- ・開催期間中に、ホテルの入り口に看板を出してチラシを置くなど、ホテルのロビーに行かなくても情報に触れることができないか。奈良の本日のイベント看板など、ムジークフェストをきっかけにできないか。
- ・テーマ音楽が決まると、その音楽を流し、ムジークフェストの時期だと思ってもらえればいい。曲目は良く知られたものの方がいい。ドイツ音楽を入れるなど。
- ・「5月」「ドイツ」「自然」をテーマに演奏曲目を選んでもらうなどをすると、徐々にテーマができあがってくるかもしれない。

【委員】

- ・来場者割合の分析をみても、県外からの集客が弱い。予算もあると思うが、県外からも毎年来たいと思う人を増やす工夫ができれば。
- ・ファミリーコンサートは毎年楽しみにしており、県外からでも参加したい企画である。

【議長（荒井知事）】

- ・奈良市内でも学園前など西部では大阪でのイベントは敏感だが、奈良のイベントを知らない人も多い。評判を立てると口コミで広がるが、コンサートもターゲットごとにテーマがあると客層に届きやすい。

【委員】

- ・認知度の向上が課題と感じるが、来場割合の多い50代以上にターゲットを絞るのか、割合の低いファミリー層に絞るか難しいと思う。
- ・大阪や京都の店舗でのPRや、営業先企業等でのPRなどで協力をしていきたい。
- ・口コミでの広がりも、1～3月での情報発信が効果があると思う。

【議長（荒井知事）】

- ・来年はオクトーバーフェストがなくなるが、小規模でもビールやジュースを飲みながら音楽を楽しめるようにできないか。猿沢インデッキやバスターミナルなど外から見える場所がいい。
- ・木のシアターができると、飲食と音楽も楽しみやすくなるかもしれない。中央卸売市場でアリーナができると、ピザ+カンツオーネなどもできるのでは。

【委員】

- ・関空や伊丹空港などでのパンフレット配架や、沖縄支社でのPRなどで協力していきたい。また、外国人向けにSNSでの発信など、外国人の流入に協力したい。

【議長（荒井知事）】

- ・外国の方は、来て体験すると楽しんでもらえる。インスタで思い出を残してもらう際に背景が社寺であったり、特徴的な看板であったり、次回開催に向けた呼び込み準備となるかもしれないが、看板が映り込んでいると、記憶にすり込まれる。

【委員】

- ・今年に引き続き、JR駅内でのポスター掲示など協力していきたい。
- ・また、大阪東線が来年3月中旬に開通予定。新大阪から奈良行きの乗り場での誘客促進含め、3月のダイヤ改正時に奈良キャンペーンを実施するので、PRに協力していきたい。
- ・モデルコースは、シーン別や年齢別で作成できればイメージがわかりやすい。
- ・若年層への訴求はJRでも課題だが、SNSやホームページ以外に実施する準備はあるか。

【事務局】

- ・ぐるっとムジークの企画において、若年層の利用が多いSNSで発信してもらえるような仕掛けができればと考えている。

【議長（荒井知事）】

- ・ムジークフェストのテーマ音楽ができれば、電車内で放送してもらえると耳に残る。ミュンヘンの笛吹きなど。通勤列車は難しいかもしれないが、車内演奏などはできないか。

【委員】

- ・毎年新しい企画があり楽しめる内容になっていると思う。社寺での公演情報などが出てくるとまた情報提供して欲しい。

- ・交通広告は、掲示板などでのポスター掲示と違い、駆け足で見られる方も多し。なるべくパッと見て分かる内容のポスターなどであれば、若年層向けにもいいと思う。詳細はホームページに誘導するなど、まずは知ってもらおう仕掛け作りが必要。

【議長（荒井知事）】

- ・大都市は演奏会が多く競争になるが、音楽祭は期間があり、キャラクターの立て方が難しい。まち全体が音楽の雰囲気になるのが音楽祭の売りだが、ポスターなどもまた工夫して検討していきたい。

【委員】

- ・ぐるっとミュージックでは移動がスムーズにいくか不安はある。バスに加えて西大寺～近鉄奈良駅間の電車利用も案内するなど、検討して欲しい。
- ・今年はバスマスクをしていないが、中南部東部地域だけでも協力できるところはしていきたい。

【議長（荒井知事）】

- ・ぐるっとバスをミュージックの期間中だけでも西大寺駅発着ができないか。

【委員】

- ・イベント開催時は、西大寺駅南側～朱雀門など運行している例はある。

【議長（荒井知事）】

- ・ぐるっとバスの運行については、また検討して欲しい。

【委員】

- ・ミュージックフェストの第1回開催時に、「奈良漬け」を引き合いに、「奈良を音楽漬け」にしたいという思いで始まったことが今でも印象深い。
- ・ぐるっとバスも含めて移動体の中での演奏などコラボできればいいと思う。
- ・交通事業者の方に提案だが、ぐるっとバスと連携して「ぐるっとバス」の販売など案内できないか。プレミアム感を創出できれば。
- ・アンケート分析については、男性と女性を比べると女性の参加割合が多く、ボランティアスタッフも女性が多い。女性がフィットし易い企画を考えてはどうか。日比谷公園ではドイツのクリスマスイベントが開催されており、女性の参加が多い。

【議長（荒井知事）】

- ・文化庁の肝いりであるクラスター事業を奈良公園周辺で検討している。その一環でミュージック

ークフェストも関連付けできるかまた検討して欲しい。

- ・ムジーク期間中の盛り上げとして、夜にイルミネーションができないか。オクトーバーフェストでの賑わいのかわりにできないか。

【委員】

- ・ムジークフェストはドイツ関連でクラシックを中心にやっておりありがたい。
- ・県内にはインド音楽に造詣が深い方がいる。奈良の国際性と関連できれば、来年は無理だと思うが、その次の機会などでも検討して欲しい。
- ・演奏会場となっている社寺ではポスターを貼ってくれたりしているが、立て看板での広報なども検討してもらえればどうか。最近御朱印巡りも人気だが、何か連携できれば。

【議長（荒井知事）】

- ・インド音楽に限らず、主催公演となると経費や他の公演とのバランスなども検討する必要があるが、持ち込み企画であれば、広報協力をするなどできると思う。
- ・社寺やホテルなどで近くの公演会場をPRしてもらう手法と、公演会場で近隣の社寺などをPRする手法があると思うので検討して欲しい。

【採決】

- ・委員から原案に対する異議は出ず、全員の賛成をもって承認された。

【議長（荒井知事）】

- ・いただいた意見を踏まえて、事務局の方で検討し、次回の実行委員会にお示ししていきたい。

4. 事務局より報告①に基づき説明

以上